

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ひだまり

目標達成計画書

作成日: 平成 27 年 10 月 9 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念の共有と実践	法人理念は掲示しているが、職員の都合で振り返ることをしていないので、ホームが目指す介護の在り方が、職員一人ひとり違っているので、職員全員が理念の意義を再確認し、理念に沿った介護の実践に取組み、時々理念を唱和していく。	職員会議時に、理念の意義について職員間で話し合い、利用者や家族が安心して任せられる介護体制を整え、理念を意識した介護の実践に取組み、利用者や家族から、「ここを選んで良かった」といわれるように努力していく。	12ヶ月
2	51	日常的な外出支援	利用者の重度化が進み、全員で外出することが困難になってきているが、グループや個別の対応で、利用者の行きたい所に外出できる取組みを行っていく。	近所の公園に散歩に出かけたり、スーパーに買い物、外食、ドライブ等に出かけ、利用者が五感で季節を感じてもらい、利用者の気分転換と生きがいに繋がる外出の支援に取り組む。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。